

総合工学委員会・機械工学委員会合同

工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会(第26期・第3回)

議事要旨

1. 日時 令和6年10月1日(火) 15:00~17:00
2. 会場
オンライン (Zoom)
3. 出席委員(敬称略)
越塚 誠一、宮崎 恵子、遠藤 薫、大倉 典子、片田 範子、上條 正義、岸田 伸幸、柴山 悦哉、澁谷 忠弘、庄司 裕子、須田 義大、辻 佳子、西田 佳史、野口 和彦、平尾 雅彦、藤井 健吉、松尾 亜紀子、水野 毅、宮崎 久美子、持丸 正明
4. 配布資料
資料1 第26期・第2回議事要旨
資料2-1 安全工学シンポジウム2024報告
資料2-2 安全工学シンポジウム 分科会提案OSおよびPD報告
資料3-1 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告(本分科会報告)
資料3-2 工学システムに対する安心感等検討小委員会活動報告
資料3-3 変化する技術・社会における工学システムの安全とリスク検討小委員会活動報告および今度の予定
資料3-4 老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会活動報告および今度の予定
資料3-5 カーボンニュートラル施策推進のための影響検討フレームの構築の今後の検討
資料4 見解「工学システムに対する「安心感」の醸成」フォローアップ・レポート
5. 議題
 - (1) 前回議事要旨確認
前回議事要旨を確認した。
 - (2) 安全工学シンポジウム実施報告
辻委員長から、資料2-1に基づき、安全工学シンポジウム2024の開催報告が行われた。また、資料2-2に基づき、本分科会で提案したOSおよびPDに関する報告が各担当

委員から行われた。最後に辻委員長より、来年度の企画の募集は、例年より早い12月が締め切りになると思う、アイデアを思いついたらご連絡いただきたい、との発言があった。

(3) 各小委員会等報告

- A) 辻委員長から、資料 3-1 に基づき、分科会の第 26 期初年度の活動報告が行われた。
- B) 庄司委員より、資料 3-2 に基づき、「工学システムに対する安心感等検討小委員会」の報告が行われた。
- C) 野口委員より、資料 3-3 に基づき、「変化する技術・社会における工学システムの安全とリスク検討小委員会」の報告が行われた。
- D) 平尾委員より、資料 3-5 に基づき「カーボンニュートラル施策のリスク検討フレーム」について報告があった。辻委員長から、化学工学会との連携を進めることについて確認があり、承認された。
- E) 岸田委員より、資料 3-4 に基づき、「老朽及び遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会」の報告が行われた。

(4) 第 25 期表出「見解」フォローアップについて

大倉委員より、資料 4 に基づいて、フォローアップレポートの説明が行われた。その後、原案のまま提出することが承認された。

(5) 今期の活動について

本分科会で取り上げる工学システムの定義、議論のスコープなどに関してフリーディスカッションを行った。

(6) その他

特になし。